

文学部 学部基幹科目 (2019年度以降第1学年次入学者適用)

区分	科目名	履修開始メスター	1	2	3	4	5	科目概要
			社会のさまざまな事象について、建学の理念によって培われた倫理観に基づいて判断を下し、かつ修得した知識を活用して社会的責任を果たすことができる	日本、中国、英語圏の諸言語・諸文化に関するそれぞれの専門領域において、深い知識と理解力を身につけている	日本、中国、英語圏の諸言語・諸文化に関するそれぞれの専門領域において、テーマを設定して自らの見解をまとめることができる	選択した専門領域以外の関連領域について、基礎的な知識を身につけている	国際交流の場において、相互理解のために情報の受信者あるいは発信者として活動できる一定の知識と能力を身につけている	
学部基幹	中国語と中国文化	1		○		○		中国語は多くの学生にとって身近な言語でありながらも未習の言語であるが、言語として中国語を知らば足りるものではなく、その言語の生み出した文化の学習も不可欠である。「中国語と中国文化」は、中国文化に対する理解を言語を通じたアプローチによって深め、かつその言語に関心を高め、学習を動機づけることをめざす。この授業では、中国語を日本語・英語と比較しつつ、その文字、発音、文法、語彙等の面から解説し、挨拶や自己紹介などの簡単な表現を学習する。中国文化に関しては、その歴史と現在の姿をさまざまな資料やDVDに基づき紹介する。
	英語と英米文化	1		○		○		英語は多くの学生にとって中学校および高等学校で既習の言語であるが、言語として英語を知らば足りるものではなく、その言語の生み出した文化の学習も不可欠である。「英語と英米文化」は、英米文化に対する理解を言語を通じたアプローチによって深め、かつその言語に関心を高め、学習を動機づけることをめざす。この授業では、既習の知識と比較しつつ、中・高では学ばない英語の知識について文字、発音、文法、語彙、表現等の面から解説し、英語の新しい側面を学習する。英米文化に関しては、その歴史と現在の姿をさまざまな資料やDVDに基づき紹介する。
	世界の言語と文化 (朝鮮語)	1		○		○		地球上にはさまざまな言語によって生み出されたさまざまな文化があり、言語として英語や中国語のみを知らば足りるものではない。「世界の言語と文化」は、世界の文化の多様性に対する理解を言語を通じたアプローチによって深め、かつその言語に関心を高め、学習を動機づけることをめざす。この授業では、朝鮮語を日本語と比較しつつ、その文字、発音、文法、語彙等の面から解説し、挨拶や自己紹介などの簡単な表現を学習する。朝鮮語圏文化に関しては、その歴史と現在の姿をさまざまな資料やDVDに基づき紹介する。
	世界の言語と文化 (ベトナム語)	1		○		○		地球上にはさまざまな言語によって生み出されたさまざまな文化があり、言語として英語や中国語のみを知らば足りるものではない。「世界の言語と文化」は、世界の文化の多様性に対する理解を言語を通じたアプローチによって深め、かつその言語に関心を高め、学習を動機づけることをめざす。この授業では、ベトナム語を日本語と比較しつつ、その文字、発音、文法、語彙等の面から解説し、挨拶や自己紹介などの簡単な表現を学習する。ベトナム語圏文化に関しては、その歴史と現在の姿をさまざまな資料やDVD/ビデオに基づき紹介する。
	世界の言語と文化 (フランス語)	1		○		○		地球上にはさまざまな言語によって生み出されたさまざまな文化があり、言語として英語や中国語のみを知らば足りるものではない。「世界の言語と文化」は、世界の文化の多様性に対する理解を言語を通じたアプローチによって深め、かつその言語に関心を高め、学習を動機づけることをめざす。この授業では、フランス語を英語と比較しつつ、その文字、発音、文法、語彙等の面から解説し、挨拶や自己紹介などの簡単な表現を学習する。フランス語圏文化に関しては、その歴史と現在の姿をさまざまな資料やDVDに基づき紹介する。
	世界の言語と文化 (ドイツ語)	1		○		○		地球上にはさまざまな言語によって生み出されたさまざまな文化があり、言語として英語や中国語のみを知らば足りるものではない。「世界の言語と文化」は、世界の文化の多様性に対する理解を言語を通じたアプローチによって深め、かつその言語に関心を高め、学習を動機づけることをめざす。この授業では、ドイツ語を英語と比較しつつ、その文字、発音、文法、語彙等の面から解説し、挨拶や自己紹介などの簡単な表現を学習する。ドイツ語圏文化に関しては、その歴史と現在の姿をさまざまな資料やDVDに基づき紹介する。

英米学科 専門科目（2019年度以降第1学年次入学者適用）

区分	科目名	履修開始semester	1	2	3	4	5	科目概要
			国際社会において通用する英語の運用能力と、異文化に対する柔軟な理解力を備えている	英語圏の文化についての専門的な知識を有し、異なった文化を理解し受け入れる包容力を持ち、それらを活用して、問題を解決しようという前向きな姿勢を身につけている	英語と英語圏文化についての知識と理解力を諸外国とのさまざまな分野での交流に役立てることができる	文化、社会、歴史、政治などの最新の話題について、英語を使って自分の考えを表現することができる	文献検索の方法を熟知し、テキストの精緻な読解と分析を行い、そこから得られた独自の考えを英語によって表現できる	
学科基礎	英米学科入門ゼミ	1	○			△	◎	日本語による文章・レポートの書き方を学ぶ。毎回テーマに従って順次正確で論理的な文章を書く訓練を行う。4月、5月、6月の月末締め切りのレポートを提出してもらって、添削のうえ返却する。課題は英語で書かれた小冊子。学期末に最終レポート。
	English Conversation 1	1	◎	△		○		This course is designed to strengthen the confidence of students by building up their vocabulary skills on a range of topics intended to be relevant to their experiences. Students will be given regular oral tasks to prepare, such as role plays and presentation topics. Tests will be used to monitor student progress, as well as a weekly assessment of student performance during in-class speaking activities. Students will have conversations in pairs and groups, and make presentations in front of the class in English, reinforced by writing activities and quizzes.
	English Conversation 2	1	◎	△		○		This course is designed to strengthen the confidence of students by building up their vocabulary skills on a range of topics intended to be relevant to their experiences. Students will be given regular oral tasks to prepare, such as role plays and presentation topics. Tests will be used to monitor student progress, as well as a weekly assessment of student performance during in-class speaking activities. Students will have conversations in pairs and groups, and make presentations in front of the class in English, reinforced by writing activities and quizzes.
	English Conversation 3	3	◎	△		○		In this English conversation course students will study one unit of the textbook every class. Students will both review and practice English structures that they are already familiar with and also learn language and vocabulary that they are encountering for the first time. The textbook, "Life Topics," introduces a variety of fascinating issues and topics from around the world, and students will also develop their critical thinking capability.
	English Conversation 4	3	◎	△		○		In this English conversation course students will study one unit of the textbook every class. Students will both review and practice English structures that they are already familiar with and also learn language and vocabulary that they are encountering for the first time. The textbook, "Life Topics," introduces a variety of fascinating issues and topics from around the world, and students will also develop their critical thinking capability.
	English Listening Skills 1	1	◎	△		○		All the information in this course is based on interviews with young people from around the world. Each unit focuses on a different person and covers a different topic. Contributors share their individual experiences and opinions related to the topic. In addition, they give a more general insight into their country's culture. Students using this course can therefore learn about other countries directly from other young people. Students are also encouraged to make cultural comparisons between each country and Japan as well as to discuss their own ideas and opinions on each issue.
	English Listening Skills 2	1	◎	△		○		All the information in this course is based on interviews with young people from around the world. Each unit focuses on a different person and covers a different topic. Contributors share their individual experiences and opinions related to the topic. In addition, they give a more general insight into their country's culture. Students using this course can therefore learn about other countries directly from other young people. Students are also encouraged to make cultural comparisons between each country and Japan as well as to discuss their own ideas and opinions on each issue.
	English Listening Skills 3	3	◎	△		○		この授業では、実生活に馴染みの深いトピックを扱った会話を多く聞くことによって、聞きとる力を養いながら、同時に相手によりよく伝わる話し方を習得する。各回ではまず、トピックの内容と語彙に関する音声聞きとり、さらにそのトピックに関する会話やモノローグを聞きとる練習をする。おしまいにはそれを応用した発音練習、書きとり練習、会話練習をすることによって包括的な英語力を養う。

区分	科目名	履修開始semester	1	2	3	4	5	科目概要
			国際社会において通用する英語の運用能力と、異文化に対する柔軟な理解力を備えている	英語圏の文化についての専門的な知識を有し、異なった文化を理解し受け入れる包容力をもち、それらに応用して、問題を解決しようという前向きな姿勢を身につけている	英語と英語圏文化についての知識と理解力を諸外国とのさまざまな分野での交流に役立てることができる	文化、社会、歴史、政治などの最新の話題について、英語を使って自分の考えを表現することができる	文献検索の方法を熟知し、テキストの精緻な読解と分析を行い、そこから得られた独自の考えを英語によって表現できる	
学科基礎	English Writing 1	1	○	△		◎		この授業では、文法の定着を特に重視しつつ、英作文の基礎を身につけることを目的とします。英作文という、「文字の上の作業」であり、日常生活で用いることが多い「話すこと」や「聞くこと」とは一見すると無縁に見えると思います。しかし、皆さんが英語を「話す」ときには、実のところは頭の中で英作文を組み立ててから（＝頭の中で英語を「書いて」から）、口に出しているのではないのでしょうか。このため、「書く」ことと「話す」ことは、言語を発信する（output）という点で共通なのであり、英作文の訓練は英会話の訓練に直結していると考えられます。そうしたoutput時に情報を交通整理してくれる、聞き手／読み手とルールを共有できるようにしてくれるのが、文法なのです。このため、この授業では文法につけつつ、今一度英語を基礎からおさらいしてみたいと思います。 また外国語の習得では辞書の使用も欠かせませんから、辞書指導も徹底しておこなう予定です。
	English Writing 2	1	○	△		◎		English Writing 1 に引き続き、この授業では、文法の定着を特に重視しつつ、英作文の基礎を身につけることを目的とします。英作文という、「文字の上の作業」であり、日常生活で用いることが多い「話すこと」や「聞くこと」とは一見すると無縁に見えると思います。しかし、皆さんが英語を「話す」ときには、実のところは頭の中で英作文を組み立ててから（＝頭の中で英語を「書いて」から）、口に出しているのではないのでしょうか。このため、「書く」ことと「話す」ことは、言語を発信する（output）という点で共通なのであり、英作文の訓練は英会話の訓練に直結していると考えられます。そうしたoutput時に情報を交通整理してくれる、聞き手／読み手とルールを共有できるようにしてくれるのが、文法なのです。このため、この授業では文法に気をつけつつ、今一度英語を基礎からおさらいしてみたいと思います。 また外国語の習得では辞書の使用も欠かせませんから、辞書指導も徹底しておこなう予定です。
	English Writing 3	3	○	△		◎		「English Writing 1」「2」に引き続き、この授業では、英作文の基礎を身につけることを目的とする。英作文というものは、「文字の上の作業」であり、日常生活で用いることが多い「話すこと」や「聞くこと」とは一見すると無縁に見える。しかし、人が英語を「話す」ときには、実のところは頭の中で英作文を組み立ててから（＝頭の中で英語を「書いて」から）、口に出しているのである。このため、「書く」ことと「話す」ことは、言語を発信する（output）という点で共通なのである。つまり、英作文の訓練は、英会話の訓練に直結していて、総合的な英語力向上に不可欠なのである。このため、この授業では、英作文の基礎力を磨くことに注力する。また、そのような基礎固めのために、英文読解などの活動や、さらには発展的な内容として Paragraph Writing などとも扱う予定である。
	英語学概論	1	◎	○				本講義では、1) 英語の音声の仕組み、2) 〈ことば〉の仕組み、とりわけ英語を対象とした認知言語学、3) 言語と文化の関わり、について、その概要を説明する。 新しい英語学の考え方の基礎を身につけ、その視点から英語の構造を理解できることを目指す。日本語との比較をも行い、人間の言語に共通な性質にも着目する。
	英語文学論 1	1	◎	○				日本語で書かれたテキストに加え、英文資料も使用しながら、イギリス文学の世界を平易に紹介する。基本的には文学史のように時間軸に沿って紹介していくが、網羅的ではなく、各時代で我々にとって興味深い作家・作品を重点的に取り上げていく。作品については原文、翻訳、映画版等によって紹介する。また受講生諸君にも翻訳で作品を味わってもらい、ブックリポートを提出してもらう。
	英語文学論 2	1	◎	○				文学と文化は切っても切り離すことの出来ない関係にある。本講義では英米文学のうちアメリカ文学を概観することになる。一国の文学を全体的に把握する方法としては最適な方法だと思われるので、本講義ではアメリカ文学史を辿ることになる。
	英文法	3	◎	○				英文法はいわば英語のルールであるが、英文法が英語という言語を完全に支配しているわけでない。従って、中学校や高等学校で習う学校文法で、英語のすべての運用方法が説明されるわけではない。英文法からはみ出す例外的な用法も含めて、大学生にふさわしい、一歩進んだ英文法をこの授業では学ぶ。また、英文法のための英文法ではなく〈使える英文法〉を取り扱う。文法解説は少なくし、むしろ多くの練習問題（英文法、英作文）や各種課題などを取り入れる。
	英語演習 1	3	◎	△			○	1年次で身につけた総合的な英語力をさらに伸長させるためにより高度な課題を課す。様々な種類の読解・聴解を通して、語彙、文法の知識のさらなる補強をし、様々なトピックに関して自分の考えを英語で発信する（書く、話す）ことができるように、より実践的なコミュニケーション能力の獲得を目指す。
	英語演習 2	3	◎	△			○	「英語演習1」と同様、1年次で身につけた総合的な英語力をさらに伸長させるためにより高度な課題を課す。様々な種類の読解・聴解を通して、語彙、文法の知識のさらなる補強をし、様々なトピックに関して自分の考えを英語で発信する（書く、話す）ことができるように、より実践的なコミュニケーション能力の獲得を目指す。

区分	科目名	履修開始semester	1	2	3	4	5	科目概要	
			国際社会において通用する英語の運用能力と、異文化に対する柔軟な理解力を備えている	英語圏の文化についての専門的な知識を有し、異なった文化を理解し受け入れる包容力をもち、それらに応用して、問題を解決しようという前向きな姿勢を身につけている	英語と英語圏文化についての知識と理解力を諸外国とのさまざまな分野での交流に役立てることができる	文化、社会、歴史、政治などの最新の話題について、英語を使って自分の考えを表現することができる	文献検索の方法を熟知し、テキストの精緻な読解と分析を行い、そこから得られた独自の考えを英語によって表現できる		
学科基礎	Advanced Conversation 1	5	◎	△		○		In this course, students will participate in lectures on topics focusing on global issues and intercultural understanding, followed by whole class discussions, group work, pair work, and individual task-based exercises related to the overall course themes and lessons. In addition, each student will engage in research to prepare short speeches plus group and individual presentations.	
	Advanced Conversation 2	5	◎	△		○		Building upon the work completed for Advanced Conversation 1, students will take an active role in group and whole class discussions, with a focus on online research-based tasks that engage every student in all four language skills as they explore the course themes of global issues and intercultural understanding. Each student will give individual speeches as well as plan, prepare and participate actively in group presentations that will be evaluated by their peers and the instructor.	
学科専攻	研究演習	Academic Reading 1	5	△		○	◎	この授業は、英語卒業論文作成を念頭においた、リーディングの力をのばすことを目的とする。論文を英語で書くためには、正確に英語を読む力をつけることが不可欠であり、とりわけ、批評的、創造的に読む訓練をこの授業では重視する。文学作品やその他の散文を丁寧に読むという作業に加えて、研究論文を読みこなす力も養う。	
		Academic Reading 2	5	△		○	◎	この授業は、Academic Reading 1に引き続き、英語卒業論文作成を念頭においた、リーディングの力をのばすことを目的とする。論文を英語で書くためには、正確に英語を読む力をつけることが不可欠であり、とりわけ、批評的、創造的に読む訓練をこの授業では重視する。文学作品やその他の散文を丁寧に読むという作業に加えて、研究論文を読みこなす力も養う。	
		Academic Writing 1	5	△	○		◎	この授業では、文法の定着を重視したEnglish Writing 1・2・3の内容を踏まえつつ、卒業論文という学術的な文章を英語で書くためのスキルを身に付けることを目的とする。卒業論文を執筆する際には、読み手にとって分かりやすい文章を書く、自らの主張を裏付ける根拠を提示することなどを意識する必要がある。一般的な英作文を書くために必要とされる基本的な語彙・語法を踏まえつつ、アカデミック・ライティングの基本的な特徴、卒業論文の構造を理解して、卒業論文を英語で執筆する力を身に付けてもらいたい。	
		Academic Writing 2	5	△	○		◎	Academic Writing 1と同様、この授業では、文法の定着を重視したEnglish Writing 1・2・3の内容を踏まえつつ、卒業論文という学術的な文章を英語で書くためのスキルを身に付けることを目的とする。卒業論文を執筆する際には、読み手にとって分かりやすい文章を書く、自らの主張を裏付ける根拠を提示することなどを意識する必要がある。一般的な英作文を書くために必要とされる基本的な語彙・語法を踏まえつつ、アカデミック・ライティングの基本的な特徴、卒業論文の構造を理解して、卒業論文を英語で執筆する力を身に付けてもらいたい。	
		卒業研究予備ゼミ	6		△		◎	○	指導教員の専門分野あるいはそれに関連する学際的分野の中から、各自でテーマを選び、英語卒業論文作成に必要な文献を調査する。英語で書かれた文献を調査する中で英文読解力や使用されている専門用語の正確な理解力を養う。調査した英語文献から、英語卒業論文作成に必要な情報を、出典を明記してノートやカードに書き写したり、日本語文献の場合は日本語原文とその英訳を作成する作業を行うことで、英語での作文力を養う。
		卒業研究ゼミ 1	7		△		◎	○	英語卒業論文には、数件の先行研究の調査が必要であるため、「卒業研究予備ゼミ」に続き文献調査を続行する。集めた情報は各自のテーマとの関連から整理し、ゼミで中間発表（研究経過報告）を行い、指導教員や「卒業研究ゼミ」の同級生からの意見聴取を行う。英語卒業論文の構成がある程度まとまったら、英語卒業論文の草稿に着手する。
		卒業研究ゼミ 2	8		△		◎	○	英語卒業論文の完成を目指して、指導教員の指導を受ける。また「卒業研究ゼミ」での中間発表を通じて、各自の英語卒業論文をわかりやすい表現に修正していく作業を行う。提出期日までに指導教員から提出許可が受けられるように、英語卒業論文を何度も推敲する。
	卒業論文	8		△		◎	○	「卒業研究予備ゼミ」・「卒業研究ゼミ」の指導教員の専門分野あるいはそれに関連する学際的分野の中から、各自でテーマを選び、英語による卒業論文を作成する。英語による卒業論文作成のためには、選んだテーマと関係のある英語で書かれた先行研究文献を読破して調査し、必要な情報を集めて分類し、間違いの少ない、わかりやすい英語で要領よくまとめる必要がある。英語卒業論文作成は、英語で考え、英語で表現するために必要な英語コミュニケーション能力を養うのに極めて有効である。勿論、英語卒業論文作成のための学生の精神的な負担は大きいですが、その努力に合った成果が得られるはずである。	
海外研修	Study Abroad 1	3		○	◎	△		海外の大学での実際の学びや、ホームステイもしくは寮での生活にスムーズに対応できるように、現地での生活習慣や、そこで有用な英語表現などを学ぶ。これにより、海外での学習や、海外での実地経験を、より血肉にできるための能力や心構えを涵養することを目的とする。	
	Study Abroad 2	5		○	◎	△		英米学科英語研修制度にて1年間の留学を行い、英語力、現地でのコミュニケーション能力、異文化適応能力を高め、それぞれの留学先の地域の文化や社会への理解を深める。	

区分	科目名	履修開始semester	1	2	3	4	5	科目概要
			国際社会において通用する英語の運用能力と、異文化に対する柔軟な理解力を備えている	英語圏の文化についての専門的な知識を有し、異なった文化を理解し受け入れる包容力を持ち、それらを活用して、問題を解決しようという前向きな姿勢を身につけている	英語と英語圏文化についての知識と理解力を諸外国とのさまざまな分野での交流に役立てることができる	文化、社会、歴史、政治などの最新の話題について、英語を使って自分の考えを表現することができる	文献検索の方法を熟知し、テキストの精緻な読解と分析を行い、そこから得られた独自の考えを英語によって表現できる	
海外研修	Study Abroad Project 1	4		○	◎	△		海外でのフィールドワークなどを題材として、留学の事後研修としてレポートを書いてもらうことやプレゼンテーションをしてもらうことを目的とする。題材としては、現地での生活習慣、風俗、歴史などが挙げられる。留学中には、積極的にこれらの話題やテーマを求め、主体的に学びかつ探求することが求められる。
	Study Abroad Project 2	5		○	◎	△		英米学科英語研修制度にて1年間の留学を行い、英語力、現地でのコミュニケーション能力、異文化適応能力を高め、それぞれの留学先の地域の文化や社会への理解を深める。なお、別途レポート課題の提出が求められる。
学科専攻 英語文科系	言語学概論	3	◎	○				ヒトは<ことば>によって思考し、コミュニケーションをする。ヒトのことばと動物の伝達とを観察して、ヒトのことばの特性を考える。次に、言語の修得について観察する。そうして獲得された言語が、どのような形をもっているのかを、音韻・文字・語彙・文法について考察する。そして、言語の構造・発音記号の役割などを考える。次に、ことばを発する際の心の動きを考え、実際に発されたことばが、言語場において、どのような意味をもち得るかを考える。
	英語学研究	3	◎	○				本講義は、英語の意味論、統語論、語用論、談話分析などの各論から興味深いトピックを取り上げて論じる。形態素・語・句・節・文・テキストの成り立ちを実際の言語使用の立場から分析し、理論的背景にも言及する。各表現がどのような状況で用いられると適切な使用となるかにも注意を向けたい。また、これらトピックの紹介と分析の他に、英語学で卒論を書く際のテーマや書き方などのヒント等も言及したい。
	英語文学研究 1	3	◎	○				作品の書かれた社会的・文化的な流れなどのコンテキストにも留意しつつ、英語圏の小説、詩、劇、批評などの文学作品に触れてみることを目的とする。作品を分析・解釈するために必要な基礎力を向上させることや、生い立ちなどを含めた作家の全体像を探るための学術的な手続き、あるいは作品や作家を批評するために必要となる理論などを、扱う予定である。あわせてこの授業では、英語文学の分野で卒論を書くためのテーマの探し方や具体的な書き方などにも、言及する予定である。
	英語文学研究 2	3	◎	○				作品の書かれた社会的・文化的な流れなどのコンテキストにも留意しつつ、英語圏の小説、詩、劇、批評などの文学作品に触れてみることを目的とする。作品を分析・解釈するために必要な基礎力を向上させることや、生い立ちなどを含めた作家の全体像を探るための学術的な手続き、あるいは作品や作家を批評するために必要となる理論などを、扱う予定である。あわせてこの授業では、英語文学の分野で卒論を書くためのテーマの探し方や具体的な書き方などにも、言及する予定である。
	英語圏文化の理解	3	△	○		◎		英語圏文化の代表であるイギリスとアメリカの文化を我が国の文化と比較し、異文化理解についての考えを深める。イギリス文化に関しては、ローマ支配時代から現在に至る歴史的な背景をたどりながら説明していく。アメリカ文化に関しては、東部、南部、中西部、西部、飛び地という地理的な区分に従い、それぞれの地域の特性を捉えながら説明する。イギリスとアメリカを論じる中で、オーストラリア、ニュージーランド、カナダの文化についても触れる。
	英語圏言語文化論	5	△	○		◎		この授業では、英語という言語を通して見た、文学、文化、芸術、語学などの事象について講義する。言語について考える際に不可欠である、その言語を取り巻く文化についての知識、理解を深めることを目的とする。
	英語圏社会文化論	5	△	○		◎		英語に対する知識を深め、また英語に対する視野を広げるためには、英語圏の社会的および文化的知識も身に付ける必要がある。この授業では、英語圏の「社会文化」という視点から、社会科学的領域（政治、ビジネスと経済、人種と宗教、ジェンダーなど）、そして人文学的領域（文学、文化、芸術、語学など）について、さまざまな資料やDVDに基づきながら解説する。
	西洋言語文化論	3	△	○		◎		ヨーロッパ文化圏におけるフランス文化の位置づけを学び、英語圏文化や我が国の文化と比較検討することで、文化の多様性についての認識を深めていく。テーマは大きく3つに分ける。「都市と観光」では世界的な観光都市であるパリをモデルとして、都市の機能や多言語対応について学ぶ。「mangaとBD」では日仏の漫画比較を通じて、各国での受容の歴史や文化圏による表象の違いを学ぶ。「映画」ではフランスの映画産業の仕組みを理解するとともに、表現手法についても比較検討する。授業では学生が自ら調べ、得た知識を共有して発表するなど、能動的に課題に取り組むことが求められる。
西洋社会文化論	3	△	○		◎		ヨーロッパ文化圏におけるフランス文化の位置づけを学び、英語圏文化や我が国の文化と比較検討することで、文化の多様性についての認識を深めていく。テーマは大きく3つに分ける。「食文化」ではフランス料理の伝統やカフェ文化の歴史を学ぶとともに、各地方の特色を料理文化から理解する。「アート」では、最新の芸術文化に触れてヨーロッパのアートシーンを概観し、また伝統的な芸術の歴史、美術館のあり方についても考察する。「ファッション」ではハイブランドの歴史や、グローバルな時代に合わせたメゾンの経営実態などを学ぶ。授業では学生が自ら調べ、得た知識を共有して発表するなど、能動的に課題に取り組むことが求められる。	

区分	科目名	履修開始semester	1	2	3	4	5	科目概要
			国際社会において通用する英語の運用能力と、異文化に対する柔軟な理解力を備えている	英語圏の文化についての専門的な知識を有し、異なった文化を理解し受け入れる包容力を持ち、それらに応用して、問題を解決しようという前向きな姿勢を身につけている	英語と英語圏文化についての知識と理解力を諸外国とのさまざまな分野での交流に役立てることができる	文化、社会、歴史、政治などの最新の話題について、英語を使って自分の考えを表現することができる	文献検索の方法を熟知し、テキストの精緻な読解と分析を行い、そこから得られた独自の考えを英語によって表現できる	
英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 系	EAP(English for Academic Purposes) 1	1	○		○	○		この授業は、英語圏に留学した際に授業を受講するのに必要な英語力の素地を作ることを目標とする。海外での学びでは、speakingやlisteningといった音声面の力はもちろん必要である。だがそれらのみではなくて、教科書を理解してかつessayを書くためには、readingやwritingという書き言葉の面での力も欠かせない。また、speakingとwritingは英語の発信力、listeningとreadingは受信力という点で、それぞれ不可分な関係にある。事実、これら四技能は、英語圏への留学時に指標として用いられるTOEFLやIELTSでも測定されるものである。この授業ではこれら四技能の底上げをしつつ、英語における発信力と受信力の双方を向上させることを目標とする。
	EAP(English for Academic Purposes) 2	3	◎	△		○		「EAP1」に引き続き、この授業は、英語圏に留学した際に授業を受講するのに必要な英語力の素地を作ることを目標とする。海外での学びでは、speakingやlisteningといった音声面の力はもちろん必要である。だがそれらのみではなくて、教科書を理解してかつessayを書くためには、readingやwritingという書き言葉の面での力も欠かせない。また、speakingとwritingは英語の発信力、listeningとreadingは受信力という点で、それぞれ不可分な関係にある。事実、これら四技能は、英語圏への留学時に指標として用いられるTOEFLやIELTSでも測定されるものである。この授業ではこれら四技能の底上げをしつつ、英語における発信力と受信力の双方を向上させることを目標とする。
	Kyoto Studies	3	◎	△		○		京都は長い歴史とそこで果たしてきた役割が理由で、文化的にも重要かつ芳醇な都市であると国際的に認知されている。そのような京都の魅力や歴史の深さを海外の人々に発信（アウトプット）できるようにするために、必要となる教養を身に付けること（インプット）や発信力を磨いていくことを目標とする。
	Japanese Studies	3	◎	△		○		日本の文化や歴史を、英語を通じて発信できるようにする力を涵養することを目的とする。その際には、普段何気なく接している日本の文化や歴史を自覚すると同時に、それらの情報を英語でも仕入れておくことが必要となる。そのため、日本文化に関しての受信（インプット）の面も重視したい。
	フランス語コミュニケーション（初級）	3	◎					基礎的なフランス語文法をおさえたいうえで、日常生活の様々な場で求められる会話表現を磨くことを目指す。受講生には、自ら進んでフランス語を話す心構えと、フランス語の表現を一つずつ確実に習得していく心構えが必要となる。
	フランス語コミュニケーション（中級）	3	◎					「フランス語コミュニケーション（初級）」をおさえたいうえで、さらに高度な内容をフランス語でやりとりできるようになることを目指す。受講生には、自ら進んでフランス語を話す心構えと、フランス語の表現を一つずつ確実に習得していく心構えが必要となる。
	Intensive English 1	4	◎	△		○		英語の原語のニュアンスや文法を重視したうえで、インプット（読む、聞く）とアウトプット（書く、話す）ができるようになることを目指す。1年次に学んだこれら4技能を踏まえつつ、「英語で英語を考える」という練習を積み重ねていく機会を、生きた教材を用いて、提供していきたい。
	Intensive English 2	4	◎	△		○		「Intensive English 1」「同3」「同4」と連動させつつ、4技能の向上を通じて、英語の原語の「英語で英語を考える」という練習を積み重ねていく。受講生は、失敗を恐れずに、自発的に英語で発信と受信をしていく姿勢が求められる。
	Intensive English 3	4	◎	△		○		「Intensive English 1」「同2」「同4」と連動させつつ、4技能の向上を通じて、英語の原語の「英語で英語を考える」という練習を積み重ねていく。受講生は、失敗を恐れずに、自発的に英語で発信と受信をしていく姿勢が求められる。
	Intensive English 4	4	◎	△		○		「Intensive English 1」「同2」「同3」と連動させつつ、4技能の向上を通じて、英語の原語の「英語で英語を考える」という練習を積み重ねていく。受講生は、失敗を恐れずに、自発的に英語で発信と受信をしていく姿勢が求められる。
	Intensive Speaking 1	4	◎	△		○		1年次に学んだ文法や、発信力強化（話す、書く）を基盤にして、口頭でアウトプットをする力を向上させることを目指す。受講生は、英語の文法や論理構造に気を付けつつ、自発的に英語を話していく姿勢が求められる。自らの意見を述べるという積極的な授業参加が必須である。
	Intensive Speaking 2	4	◎	△		○		「Intensive Speaking 1」「同3」「同4」と連動させつつ、文法や英語で話す際のストラテジーに留意しながら、口頭でアウトプットをする力を向上させることを目指す。受講生は、英語の文法や論理構造に気を付けつつ、自発的に英語を話していく姿勢が求められる。自らの意見を述べるという積極的な授業参加が必須である。
	Intensive Speaking 3	4	◎	△		○		「Intensive Speaking 1」「同2」「同4」と連動させつつ、文法や英語で話す際のストラテジーに留意しながら、口頭でアウトプットをする力を向上させることを目指す。受講生は、英語の文法や論理構造に気を付けつつ、自発的に英語を話していく姿勢が求められる。自らの意見を述べるという積極的な授業参加が必須である。
	Intensive Speaking 4	4	◎	△		○		「Intensive Speaking 1」「同2」「同3」と連動させつつ、文法や英語で話す際のストラテジーに留意しながら、口頭でアウトプットをする力を向上させることを目指す。受講生は、英語の文法や論理構造に気を付けつつ、自発的に英語を話していく姿勢が求められる。自らの意見を述べるという積極的な授業参加が必須である。

区分	科目名	履修開始semester	1	2	3	4	5	科目概要
			国際社会において通用する英語の運用能力と、異文化に対する柔軟な理解力を備えている	英語圏の文化についての専門的な知識を有し、異なった文化を理解し受け入れる包容力を持ち、それらに応用して、問題を解決しようという前向きな姿勢を身につけている	英語と英語圏文化についての知識と理解力を諸外国とのさまざまな分野での交流に役立てることができる	文化、社会、歴史、政治などの最新の話題について、英語を使って自分の考えを表現することができる	文献検索の方法を熟知し、テキストの精緻な読解と分析を行い、そこから得られた独自の考えを英語によって表現できる	
英語コミュニケーション系	Intensive Listening 1	4	◎	△		○		1年次に学んだ文法や、受信力強化（読む、聞く）を基盤にして、リスニングをする力を向上させることを目指す。リスニング力の向上はインプット全体の底上げにつながり、リーディング力を向上させ、ひいてはアウトプットできる表現力も身につくことになる。受講生には、英語の文法や論理構造に気を付けつつ、相手の意見を精緻に聞き取り取る姿勢が求められる。
	Intensive Listening 2	4	◎	△		○		「Intensive Listening 1」と連動させつつ、リスニングをする力をさらに向上させることを目指す。リスニング力の向上はインプット全体の底上げにつながり、リーディング力を向上させ、ひいてはアウトプットできる表現力も身につくことになる。受講生には、英語の文法や論理構造に気を付けつつ、相手の意見を精緻に聞き取り取る姿勢が求められる。
	Intensive Writing 1	4	◎	△		○		英語の原語のニュアンスや文法を重視したうえで、英作文の力を向上させることを目指す。その際には、連語関係や各英単語の含意を理解することができるようにするために、徹底した辞書指導もおこなう予定である。英作文はトライアル・アンド・エラーを繰り返さないと向上することができないので、受講生各位には積極的な授業参加が求められる。
	Intensive Writing 2	4	◎	△		○		「Intensive Writing 1」と連動させつつ、英語の原語のニュアンスや文法を重視したうえで、英作文の力をさらに向上させることを目指す。その際には、連語関係や各英単語の含意を理解することができるようにするために、徹底した辞書指導もおこなう予定である。英作文はトライアル・アンド・エラーを繰り返さないと向上することができないので、受講生各位には積極的な授業参加が求められる。
	Academic Lecture 1	4	△	◎		○		英語で講義を聞き取る力を身につけ、その上で授業中にやり取りをするための基礎力を向上させることを目指す。講義は聞き取れること（リスニング）が第一だが、そのためには教材を授業や予習・復習時に読みこむための力（リーディング）も必要である。このような諸活動を通じて、学術的な活動時に必要な総合的な英語力の向上を狙う。
	Academic Lecture 2	4	△	◎		○		「Academic Lecture 1」「同3」「同4」と連動させつつ、英語で講義を聞き取る力を身につけ、その上で授業中にやり取りをするための基礎力を向上させることを目指す。講義は聞き取れること（リスニング）が第一だが、そのためには教材を授業や予習・復習時に読みこむための力（リーディング）も必要である。このような諸活動を通じて、学術的な活動時に必要な総合的な英語力の向上を狙う。
	Academic Lecture 3	4	△	◎		○		「Academic Lecture 1」「同2」「同4」と連動させつつ、英語で講義を聞き取る力を身につけ、その上で授業中にやり取りをするための基礎力を向上させることを目指す。講義は聞き取れること（リスニング）が第一だが、そのためには教材を授業や予習・復習時に読みこむための力（リーディング）も必要である。このような諸活動を通じて、学術的な活動時に必要な総合的な英語力の向上を狙う。
	Academic Lecture 4	4	△	◎		○		「Academic Lecture 1」「同2」「同3」と連動させつつ、英語で講義を聞き取る力を身につけ、その上で授業中にやり取りをするための力を向上させることを目指す。講義は聞き取れること（リスニング）が第一だが、そのためには教材を授業や予習・復習時に読みこむための力（リーディング）も必要であり、それらで得た知見を発信する（ライティング、スピーキング）力も必要となる。このようなさまざまな活動を通じて、アカデミックな英語の受信力と発信力を向上させることを目指す。
	Academic Lecture (Advanced) 1	5	△	◎		○		In this course, the instructor will deliver lectures in English on topics related to Society and Social Issues that will enhance the students' knowledge and understanding of the concept of the international community and of different cultures. Students will engage in whole class discussions, group and pair work, as they consider these issues and propose ideas for potential strategies and solutions. In addition, students will do online searches and engage in reading and analysis of texts directly related to these topics.
Academic Lecture(Advanced) 2	5	△	◎		○		For this lecture course, the instructor will present academic lectures in English on topics dealing with Culture, Cultural History, and Culture Studies that will deepen the students' knowledge and understanding of the international community and of different cultures. Students will engage in whole class discussions, group and pair work, as they consider these issues and propose ideas for potential strategies and solutions. In addition, students will do online searches and engage in reading and analysis of texts directly related to these topics.	

区分	科目名	履修開始semester	1	2	3	4	5	科目概要
			国際社会において通用する英語の運用能力と、異文化に対する柔軟な理解力を備えている	英語圏の文化についての専門的な知識を有し、異なった文化を理解し受け入れる包容力をもち、それらに応用して、問題を解決しようという前向きな姿勢を身につけている	英語と英語圏文化についての知識と理解力を諸外国とのさまざまな分野での交流に役立てることができる	文化、社会、歴史、政治などの最新の話題について、英語を使って自分の考えを表現することができる	文献検索の方法を熟知し、テキストの精緻な読解と分析を行い、そこから得られた独自の考えを英語によって表現できる	
英語コミュニケーション系 学科専攻	Academic Lecture(Advanced) 3	5	△	◎		○		In this lecture course, the instructor will give academic lectures and commentary in English regarding contemporary studies in Environmental Studies and Global Issues that will broaden the students' knowledge and understanding of the major considerations in these areas. Students will engage in whole class discussions, group and pair work, as they consider these issues both in an international perspective and as they relate to Japan specifically, discussing ideas for potential strategies and solutions. In addition, students will do online searches and engage in reading and analysis of texts directly related to these topics.
	Academic Lecture(Advanced) 4	5	△	◎		○		In the lectures, the instructor will present key information in English about World History and Global Issues including contemporary events and trends through academic lectures as well as supporting commentary and online textual and digital media. With the overall aim of broadening their knowledge of the most significant considerations, students will engage in whole class discussions as well as group and pair work. In addition, students will do online searches and engage in reading and analysis of texts directly related to these topics.
	Academic Seminar 1	4	△	◎		○		綿密な英書講読や、授業中での教員や学生間での討論などを通じて、高度なレベルの英語力で受信と発信ができるようになることを目指す。セミナーである以上、受講生は一方的に聞きっぱなしで受講することは不可能である。積極的な授業参加は必須である。
	Academic Seminar 2	4	△	◎		○		「Academic Seminar 1」「同3」「同4」と連動させつつ、綿密な英書講読や、授業中での教員や学生間での討論などを通じて、高度なレベルの英語力で受信と発信ができるようになることを目指す。セミナーである以上、受講生は一方的に聞きっぱなしで受講することは不可能である。積極的な授業参加は必須である。
	Academic Seminar 3	4	△	◎		○		「Academic Seminar 1」「同2」「同4」と連動させつつ、綿密な英書講読や、授業中での教員や学生間での討論などを通じて、高度なレベルの英語力で受信と発信ができるようになることを目指す。セミナーである以上、受講生は一方的に聞きっぱなしで受講することは不可能である。積極的な授業参加は必須である。
	Academic Seminar 4	4	△	◎		○		「Academic Seminar 1」「同2」「同3」と連動させつつ、綿密な英書講読や、授業中での教員や学生間での討論などを通じて、高度なレベルの英語力で受信と発信ができるようになることを目指す。セミナーである以上、受講生は一方的に聞きっぱなしで受講することは不可能である。積極的な授業参加は必須である。
	Academic Seminar(Advanced) 1	5	△	◎		○		In this seminar, the students will take an especially active role in researching, discussing, and presenting information, ideas, and opinions in English on the topics of Society and Social Issues in the context of the internationalization, the international community, and understanding different cultures. In addition to short lectures and commentary by the instructor, students will do online searches and engage in reading and analysis of texts directly related to these topics. Students will engage in whole class discussions, group and pair work as they consider these issues and share their opinions in the English language.
	Academic Seminar(Advanced) 2	5	△	◎		○		In this seminar, the students will take an especially active role in researching, discussing, and presenting information, ideas, and opinions in English on topics dealing with Culture, Cultural History, and Culture Studies that will deepen the students' knowledge and understanding in the context of the internationalization, the international community, and understanding different cultures. In addition to short lectures and commentary by the instructor, students will do online searches and engage in reading and analysis of texts directly related to these topics. Students will engage in whole class discussions, group and pair work as they consider these issues and share their opinions in the English language.
Academic Seminar(Advanced) 3	5	△	◎		○		In this seminar, the students will take an especially active role in researching, discussing, and presenting information, ideas, and opinions in English on topics regarding contemporary studies in Environmental Studies and Global Issues that will broaden the students' knowledge and understanding in relation to internationalization, the international community, and understanding of different cultures. They will consider these issues both in an international perspective and as they relate to Japan specifically, discussing ideas for potential strategies and solutions. In addition to short lectures and commentary by the instructor, students will do online searches and engage in reading and analysis of texts directly related to these topics. Students will engage in whole class discussions, group and pair work as they consider these issues and share their opinions in the English language.	

区分	科目名	履修開始semester	1	2	3	4	5	科目概要
			国際社会において通用する英語の運用能力と、異文化に対する柔軟な理解力を備えている	英語圏の文化についての専門的な知識を有し、異なった文化を理解し受け入れる包容力を持ち、それらを活用して、問題を解決しようという前向きな姿勢を身につけている	英語と英語圏文化についての知識と理解力を諸外国とのさまざまな分野での交流に役立てることができる	文化、社会、歴史、政治などの最新の話題について、英語を使って自分の考えを表現することができる	文献検索の方法を熟知し、テキストの精緻な読解と分析を行い、そこから得られた独自の考えを英語によって表現できる	
英語コミュニケーション系	Academic Seminar(Advanced) 4	5	△	◎		○		In this seminar, the students will take an especially active role in researching, discussing, and presenting information, ideas, and opinions in English on topics regarding contemporary studies in World History and Global Issues including current events and trends. These academic-based activities will broaden the students' knowledge and understanding of internationalization, the international community, and different cultures. In addition to short lectures and commentary by the instructor, students will do online searches and engage in reading and analysis of texts directly related to these topics. Students will engage in whole class discussions, group and pair work as they consider these issues and share their opinions in the English language.
	Advanced TOEIC	5	◎	△		○		すでにTOEICで700点以上の比較的高いスコアを所持している受講生を対象に、TOEICでハイスコアを取得するための技術の習得によって、800点以上のより高いレベルへ到達してもらうことがこの科目の目標である。TOEIC 700点以上を所持していることが受講条件となる。
	Advanced TOEFL	5	◎	△		○		すでにTOEFLで500点以上の比較的高いスコアを所持している受講生を対象に、TOEFLでハイスコアを取得するための技術の習得によって、550点以上のより高いレベルへ到達してもらうことがこの科目の目標である。TOEFL 500点以上を所持していることが受講条件となる。
	Business Communication	5	○	◎		△		このコースでは、スピーキングとリスニングを中心に日常的なビジネス現状のためのコミュニケーション力を養います。会話やロールプレイ、リスニング、プレゼンなどを実践して色々な場面に対応できる自信とスキルを身につけていきます。
	通訳演習	5	◎	○		△		多言語・多文化社会における通訳の役割について理解を深め、基本的な通訳技法の習得を目指す。そのためには、読解及び聴解能力の強化、語彙、専門知識の習得も必要となってくるので、それらの習得にも力を入れたい。CEFR B2レベル、つまりTOEIC 600点以上くらいが受講条件となる。
	Advanced Grammar	5	◎	○				学校文法で習った文法規則の根底にある英文法の原理を学ぶ。英文法の規則を機械的に覚えるのではなく、多くの実例を通してその根本原理を考察することにより、自ら基本的用法を理解する帰納的・発見学習的な文法学習指導法を学ぶ。
英語教職系	Media English	5	○	◎		△		授業の各回では、受講生は四技能（読む、聞く、話す、書く）をこなす必要がある。その際には学生には、『ニューヨーク・タイムズ』や『ジャパン・タイムズ』のようなニュースソースから、英語のままでのニュースに触れることが求められる。受講生は、語彙力を増やすための問題をこなしつつ、教科書に意欲的に取り組まなければならない。また、コミュニケーションのための活動として、ペアや小グループあるいはクラス全体単位でのディスカッションが求められる。各学生には、教科書のユニットからトピックを一つ選び、短めのプレゼンテーションを一度こなしてもらう。これらに加えて、最終試験だけではなく定期的に授業内試験が実施される予定である。
	英語教育入門	1	○	◎				学校英語教育の現状についての理解を深め、具体事例を通して実際の授業を体験する。また、指導者としてのあり方や授業づくりについて学習する。 これらの活動を通じて、将来教職を目指す学生の眼を開いてみたいと思う。
	英語科教職論	5	○	◎				「学校教育の現状」と「求められる教師像」を考究し、教員の「指導者としてのありかた」について学び、指導者としての「資質・姿勢」の基礎を培う。また、「魅力ある授業づくり」の研究を通して、学校の教員（小学校教員や中等学校の英語科担当教員等）を目指す学生の教職意識を高め、将来展望を拓く。 教員採用試験対策として、論作文、集団面接、個人面接、模擬授業の指導も行う。
	英語科教職演習	5	○	◎				「学校教育の現状」と「求められる教師像」を考究し、教員の「指導者としての在り方」について学び、指導者としての「資質・姿勢」の基礎を培う。また、教育実習に向け「魅力ある授業づくり」の研究を通して、学校の教員（小学校教員や中等学校の英語科担当教員等）を目指す学生の教職意識を高め、将来展望を拓く。 教育実習に備えるための模擬授業の指導や、教員採用試験対策としての場面指導、集団討論、小論文の指導も行う。